

科住園島

令和 8 年度【第 5 号】
2026 年 8 月 1 日発行
八頭町役場 商工 観光 室
(0858-72-0144)

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

「いや!」の気持ちを大切に

子どもが友達におもちやを「貸して」と言われた際に「いや!」といったらどうしますか? 私は今まで「いや!」と言って貸さない娘に「なんで貸してあげないの?」と言ったり、おもちやを貸したら「えらいね!」褒めていました。ただ、先月、子育て世代のための性教育講座を聞いて、娘の「いや!」という気持ちも大切にしてあげなければいけないなど、考えさせられました。

「いや!」は、相手のことを全否定するわけではなく、その行為が「今」嫌だと感じたという意思表示で、自分の心やからだを守るために大切なことだそうです。周囲に合わせることや我慢することを良しとされがちですが、それに流されるばかりではなく、自分はどうしたいか、またどう思うのか。心の中の「いや!」という気持ちに耳を傾けて、大切にすることで、周囲の人ともより良い関係を築けるようになると気付かされた、素敵な講座でした。(杉川藍月)



紹介された性教育を扱う絵本や本

花御所柿の夢

6月の研修では柿の摘果を指導していただきました。今年の花御所柿は写真のような五角形の果実が多いようです。規格外となってしまうのでこの時期に落としてしまいますが、そのままならせると大玉になって味も美味しいそうなので、ネーミングを考えてみました。プレミアム花御所柿「五つ星」です。都市部の高級スーパーで売れそうな気がします。

また、規格外の花御所柿を使ってお酒を作るといのはどうでしょうか。すでにリキュールは作られています。私はフルーツブランデーが良いのではないかと考えています。リンゴのブランデーであるカルバドスが私は好きなのですが、その花御所柿バージョンがあったら、まろやかで濃厚な甘味があつて、寝る前にちよつと1杯飲むのに最高のお酒になるのではないかと想像しています。柿のブランデーは全国でもほぼ作られていないようなので、世界に一つだけの八頭町の特産品になるのではないのでしょうか。(石黒達也)



五角形の花御所柿

ども、ミヤツキーです。今年もナツキチの季節がやってきました。今年は対象を5・6年生に絞り、15人にポリウムアップ。2年目となる今回は、昨年とできるだけ内容が重ならないよう新しい体験を増やし、子どもたちのリクエストにも応えられるよう準備を進めてきました。子どもたちがどんな体験をし、どんな人や仲間に出会ったか、私自身も楽しみにしています。

中でも大きな目玉は、子どもたちが自由に過ごせる活動拠点「こみんか」での1週間です。公共施設をお借りするのではなく、自分たちの場所として、何をどう使い、遊び、過ごすのかを考えます。安全面には十分配慮しますが、自分たちで判断し、責任をもつて活動する経験は、子どもたちの成長にとって大切な機会になると考えています。

今年も地域の皆さんに支えられながら、
やずの夏をめいっぱい楽しみたいと思いま
す。夏休み中は公共交通を使って町内をた
くさん移動します。見かけた際は、温かく声
をかけていただけるとうれしいです。



去年のナツキチの様子

鳥取大学の授業の一環で、卒業生として学生にお話する機会をいただきました。八頭町との出会いや学生時代の過ごし方、就職してから現在に至るまで、そして現在の活動などをお話ししてきました。壇上に立つにあたり、自分でも当時を振り返ってみたのですが、ただひたすらに「八頭町の皆様の優しさや愛情深さに助けられた学生時代だったな」と、改めて感じました。

私は在学中に八頭町と出会い、かつてあったライダー向けのゲストハウスでのアルバイトを通じて、地域の方や全国から訪れるライダーとつながりを持つことができました。また、つながりのお陰で、大変なことも乗り越えられ、たくさんの学びも得ることができました。

質疑応答や座談会では現役の学生たちも様々な葛藤を抱え、地域での学びに貪欲で八頭町に関心を持つてくれる子も多かったです。そんな姿を嬉しく思いましたし、もし八頭町に過去の私のように迷い込んで来た学生がいたら支えてくれた地域の皆様のように次はサポートする側に回りたいなと感じました。（谷内口瑞月）



若鉄に乗ってどこに行こう



今年は何作ろう



今年もやります川遊び



紹介した活動の一翼を担う、ツーリングガチャの指示書（抜粋）



隊員からお知らせ ナツキチ 2026 の詳細は Instagram **【@miyakki82】** で発信中。

八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。